

【TTA 別紙 1】

緊急雇用創出事業（震災対応事業） 「復興へ 頑張ろう！ みやぎの企業振興 国際人材育成活用等事業」
（様式 1） 応募申込書/事業計画書/事業概要/目的 一般財団法人 東北多文化アカデミー（TTA）

風評被害を吹き飛ばせ！

学都仙台を元気にする

*エデュケーション・ツーリズム立ち上げ事業

一般財団法人 東北多文化アカデミー（TTA）

*エデュケーション・ツーリズム(訪日者向け短期日本研修)とは、海外の高校生・大学生と引率者及び家族を対象とした教育目的を持った日本滞在中で、期間が概ね 3 日～90 日のもの

震災後、中国を筆頭とするアジア諸国からの観光客は激減した。また情報の少なさから原発を過剰に心配するあまり、東北のみならず日本全体で大学・日本語学校等に留学を希望する学生の数は風評被害ともいえる顕著な落ち込みを見せている。この状況を打開するには、まず休暇等を利用した短期体験研修にできるだけ多くの学生を招致し、宮城県の状況を正しく知ってもらい、帰国してから正しい情報を現地に伝えてもらうことが肝要である。

短期体験研修に参加した学生の一部は、リピーターとして長期留学生となることが予想される。現在日本留学を希望する学生が親の強い反対により断念するケースが後を絶たないが、親や学校の引率者を同時に参加させることにより安心感を与え、復興を目指すコミュニティーの一員になりたいという積極的な動機が生まれると期待される。

震災以前から長期留学の下見、日本語学習、観光を兼ねた短期留学の需要は増えており、TTA が今まで実施した仙台大学留学生、秋田大学留学生、上海同济大学留学生等への短期研修トライアルは高い評価を得た。短期研修修了者が将来私費留学生として地元の教育機関に授業料等を納付し、消費活動を行ない、親族等が観光に訪れる経済効果を考えると、きっかけとなる短期研修には少子化時代の留学生招致ビジネスとして大変重要な発展性がある。また一部の留学生は将来日本でグローバル人材として就職することも十分考えられ、質の高い海外人材の確保は国の施策・震災後の産業界のニーズにも合致している。

この事業の目的は、*エデュケーション・ツーリズムの立ち上げ業務体験(OJT)及び関連知識技能の習得(OFF-JT)を通じて、海外教育機関と国内教育機関をコーディネートできる教育産業分野の国際人材を育成することである。